様式A-3

特定共同研究（A）計画調書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

　　　東京大学地震研究所長　殿

〔代表者〕

職　名

所属機関・部局名

住　所　〒

電　話

E-mail

下記のとおり共同研究の実施について申請します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題(課題番号) | （20 　-A-　　） |
| 研究課題概要 | ※100字～150字で研究内容の概要を以下にご記入ください。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 研究計画※使用する文字は10ptとし、適宜枠を拡張してください。記載分量は(1)と(2)は200字程度、(４)は500字程度としてください。※なお、様式中の注意事項については、削除いただいてかまいません。 | （１）参加申請者を参加させることによる研究上の意義と利点（２）従来の研究成果（本研究課題、または関連した研究のこれまでの成果を具体的に記入してください。）（３）本研究課題での予算の裏付けとなる既存プロジェクト（既存プロジェクトの予算規模を明記してください。また、簡潔に記入して下さい。）（４）新たに参加する参加者が行う研究実施計画及び経費の使用目的・意義（※既存プロジェクトの経費と本経費との関係についても記載してください。加えて、関連課題として複数の申請がある場合や、過去に同様の課題が採択されている場合には、それらとの違いについて、明記してください。） |
| 研究組織※枠は適宜拡張してください。※新たに参加する研究者のみが経費補助の対象となるため、新たに参加する研究者とそれ以外が分かるように記載してください。 | 氏名 | 所属機関 | 職名 |
| （代表者）（地震研究所担当教員） |  |  |
| 必要経費(千円) | 旅費 |
| 経路 | 日数 | 人数 | 金額 |
|  |  |  |  |
| 合計 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　千円 |

**次のページに謝辞等についての注意事項が記載してありますので、必ずご確認ください。**

※本共同研究の助成を受けた研究成果を論文等に発表する際には、東京大学地震研究所共同利用により助成を受けた旨の謝辞記載別刷などの提出を必ずお願いいたします。

 ※Acknowledgment(謝辞)に、地震研究所より助成を受けた旨を記載する場合には「20XX-X-XXの課題番号」を必ず含めてください。

（記載例：課題番号｢2022-A-01｣）

【英文】：下のいずれか

・This study was supported by ERI JURP 2022-A-01 in Earthquake Research Institute, the University of Tokyo.

・This study was funded by Earthquake Res., Inst., the University of Tokyo, Joint Research program 2022-A-01.

【和文】：本研究は東京大学地震研究所共同利用(2022-A-01)の援助をうけました。

※大学院進学予定の学部生は大学院を記載し、職名に進学予定と追記してください。

　（例：大学院生（進学予定））